



## ◆ IPAが『情報セキュリティ10大脅威2020』を発表 ◆

■ 「情報セキュリティ10大脅威2020」

NEW : 初めてランクインした脅威

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
NEW	スマホ決済の不正利用	1位	標的型攻撃による機密情報の窃取	1位
2位	フィッシングによる個人情報の詐取	2位	内部不正による情報漏えい	5位
1位	クレジットカード情報の不正利用	3位	ビジネスメール詐取による金銭被害	2位
7位	インターネットバンキングの不正利用	4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
4位	メールやSNS等を使った脅迫・詐欺の手段による金銭要求	5位	ランサムウェアによる被害	3位
3位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	6位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	16位
5位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	7位	不注意による情報漏えい(規則は遵守)	10位
8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	8位	インターネット上のサービスからの個人情報窃取	7位
6位	偽警告によるインターネット詐欺	9位	IoT機器の不正利用	8位
11位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	10位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	6位

出典：IPA(情報処理推進機構) 『情報セキュリティ10大脅威2020』  
URL：<https://www.ipa.go.jp/about/press/20200129.html>

IPAは、2020年1月29日に「情報セキュリティ10大脅威2020」を発表しました。

組織の1位は「標的型攻撃による機密情報の窃取」で、2位には昨年の5位から上昇した「内部不正による情報漏えい」でした。

2位の「内部不正による情報漏えい」に関して、  
“情報機器リユース業者において、廃棄予定のHDDが社員により不正に持ち出され、ネットオークション等で転売されました。そしてそのHDD内に多くの個人情報等が残っていたことが発覚し、大きな社会問題となりました。重要情報の格納に使用したHDDは物理的に破壊、または専用のソフトウェアで適切にデータを消去した後、廃棄される必要があります。一方で確実な廃棄の確認方法の難しさも指摘されました。また、内部不正を予防するためには、経営者が積極的に関与して重要情報の管理および保護を徹底すると共に、従業員への教育等により情報モラルを向上させることが必要です。”としています。

(『情報セキュリティ10大脅威2020』より抜粋)

## ※ 今月の豆知識 ※

～ 世界一栄養がない野菜、『きゅうり』 ～



『きゅうり』の旬は夏で、年間を通して栽培されているので、季節問わず楽しんで、サラダにはかかせない野菜のひとつですが、『きゅうり』って世界一栄養がない野菜とされています。全体の95%が水分で、栄養素はビタミンC・カロチン・カリウムなどが含まれますが、その含有量は非常に低いです。

ですが、なかでもカリウムは比較的多く含まれているので、利尿作用があり、むくみの改善が期待できます。また、血圧を下げる効果もあります。そして、『きゅうり』は薬膳料理でも用いられ、身体を冷やす働きがあるので、夏バテ予防にもなります。

『きゅうり』の選び方のポイント



- ✿ いぼがチクチクするくらい尖っているもの (いぼのある品種の場合)
- ✿ 緑が濃く、重みがあり、色つやのよいもの
- ✿ 太さが均一のもの
- ✿ 全体にしならないもの
- ✿ 切り口が黒ずんでいない鮮やかな色のもの



赤松事務機株式会社  
代表取締役 片松 保佳

## 『社長のつぶやき』

VOL.28

3月になりました。学校では卒業式があったり、会社では転勤・配属の変更があったりと通年であれば何かとイベントが多い月ではありますが。。。今年の3月は少し様子が違います。皆様もご存じの通り、コロナウイルスの感染拡大により多くのイベントが中止になっております。本来ならまだ春休みではないのですが学校もお休みということでご家庭では大変な思いをされている方も多いと思います。また、仕事面につきましてはこれもまた大変な思いをされている方は多く、あらゆる業界で影響が出ていると認識しております。弊社においては直接的な影響は少ないと思っていたのですが、中国で生産しているメーカーさんの機械の出荷が止まったりなどお客様にご迷惑をおかけする事態も出てきております。少しでも早く事態が収束することを願っております。

3月と言えば9年前の2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生しました。発生当初私は香川県にいて車で移動中でしたのでFMラジオからの「東日本で大きな地震がありました」との一報で知りました。第1報からだんだん地震情報を伝えるニュースが多くなっていったので「これはおかしいな」と思い車を路肩に止めてカーナビのテレビをつけるとそこにはあの津波の映像が流れていました。正直、現実のものとは思えなく、ただただ画面を見ていることしかできませんでした。発生当時の車中で映像を見た記憶ははっきりと残っています。それから1年4か月後の2012年7月に気仙沼と陸前高田に行く機会をいただきました。前日まで滞在した岩手の盛岡を出発して新幹線・在来線乗り継ぎ、気仙沼駅に到着しました。駅は高台にありましたのでそこからレンタルサイクルで港まで下りて、何もなければさだかの街を自転車で走り続け、涙が止まらなかった記憶があります。そこからタクシーで陸前高田に向かい、校舎丸ごと津波に飲まれた学校や当時有名だった一本松を見て回りました。タクシーの運転手さんに「どこからですか」と聞かれて「四国の高松です」と答えると「遠いところわざわざ来てくれてありがとう。私たちは遠方からこの土地を目指して来ていただけることが何よりうれしい」と深々と頭を下げお礼を言っていたことが強く印象に残っています。運転手さんから色々な話を聞き、場所を回り、案内していただいて帰路につきました。

書いてると溢れんばかりの記憶が蘇ってきます(T\_T) 生きているって本当にありがたいことだと心から感じます。震災のことを思い出すとその思いが一層強くなります。日常の小さなことでクヨクヨ悩みながら過ごすより「生きていること」を実感しながら「今日という日」を笑って過ごしたいと感じる次第です(^^)

## IT用語

知っておいて損はしない！かも・・・

### ■ NAS (ナス) ■

Network Attached Storage (ネットワークアタッチトストレージ) の略。

ネットワーク (LAN)上に接続することが出来るHDD (ハードディスク) のことを指します。

一般的にハードディスクはパソコンに内蔵されているタイプや、USBで接続するタイプが多く、パソコンと1対1で直接接続して使用しますが、NASはネットワーク (LAN)上に接続するため、1対多数のパソコンから同時に接続することができ、パソコンの電源オン/オフにかかわらず、いつでもファイル共有を行うことができるのが特徴です。その反面、LANへの接続、アクセス権限を使うためのユーザーやグループの設定といった初期設定に時間がかかるというデメリットもあります。

NASは内部にCPUやOSなどを搭載し、パソコンに近い構造をしているため、保存したデータを管理・活用するためのさまざまな機能が搭載されている機種も多いです。NASには大きく分けて家庭用と法人用があり、家庭用のNASは、ストレージ機能に加えて動画や写真を管理したり、iTunesをリンクした音楽サーバー機能など多彩な機能を持っているのが特徴です。一方、法人向けのNASは安全にファイルを保管・共有することに主眼が置かれているため、ハードディスクの容量が大きく、高速アクセスやセキュリティ機能を特長としている製品が多いです。



弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！  
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います!!!  
対策は早目にしましょう！